

サプライヤーの品質 コンプライアンスの向上

ビジネス目標

- あらゆる間接サプライヤーや供給品の自動プロセスを管理するダッシュボードの開発
- 間接サプライヤーデータ向けの単一の検証ソースの実現
- プロセスの説明責任、不適合通知、対策に対応するサプライヤーとの強固な統合

結果

- 原材料の変更サイクルが60%短縮（25日から10日未満に）
 - サプライヤーのコンプライアンスが向上
 - すべてのサプライヤーに適用
-
- 複数のシステムの統合：メーカーの購買、在庫および財務システム、サプライヤー連絡先データベース等
 - サプライヤーとの機密性が維持される安全な連絡手段

「Pegaには大きな期待を寄せており、その期待どおりになりました。」

世界的大手自動車メーカー、品質部門、副社長

課題とビジョン:

間接サプライヤーとのコミュニケーションと検品プロセスの統合

このグローバルな大手自動車メーカーは、間接的なサプライヤーを含む複数のプロセスを効率的に管理する方法を探していました。間接的なサプライヤーから供給される材料には、製造工程で使用される液体、潤滑剤、機械部品その他の品目が含まれています。

同社はこれまでこれらのサプライヤーや供給品を手動で管理しており、手間のかかるプロセスによって、一貫性がなく予測困難な結果が生じていました。原材料の変更、発注書変更、一元化された連絡先情報、サプライヤーKPI（重要業績評価指標）、注文表などを自動化するためには共通のプラットフォームが必要でした。

Pegaによる支援:

高性能な間接サプライヤーコミュニケーションポータル構築

この大手自動車企業は何百もの間接的なサプライヤーを管理しているため、間接サプライヤーアプリケーションの設計には多くの要件を考慮する必要がありました。原材料の変更、新しい供給業者、発注書変更、供給業者のKPI（重要業績評価指標）、マテリアルハンドリングの変更、資材の品質保証などについてプロセスを定義しました。

PegaのパートナーであるCognizantがメーカーとオンサイトで作業し、Pega Cloudを使用した間接サプライヤー・コミュニケーション・ポータルを作成して、重要プロセスを自動化しました。この自動車メーカーとサプライヤーは、ポータルによって共通のプラットフォームを持つことができ、原材料の変更、発注書変更、一元化された連絡先情報、サプライヤーKPI（重要業績評価指標）、注文表などに対応できるようになりました。

実現できたこと:

革新的なシステム機能を迅速に実現

この自動車メーカーで既に完了済または進行中の他のPegaプロジェクトと同じく、このポータルのプロジェクトでもアプリケーション開発において大きな進歩が見られ、迅速な反復開発の手法により新しいシステム機能の開発時間が大幅に削減できることが示されました。Cognizantは、現場に駐在するPega Consultingチームから必要に応じてサポートを受けつつ、約4か月でポータルアプリケーションを開発しました。

新しいサプライヤーポータルアプリケーションに対するユーザーの反応は、メーカー側でもサプライヤー側でも高評価でした。

世界的大手自動車メーカー

この自動車業界最大手企業は、北米で14の製造工場を運営し、これまでに3,600万台以上の車両の考案、設計、組立を行ってきました。2017年には、同社の1,800の北米ディーラーが270万台以上の車両を販売しており、過去15年間に販売された車両の約87%が現在も走行中です。